

一般会計補正予算

(債務負担行為を含む)

反対討論

桜井 博義 議員

用地所有権移転の問題が議論の中で関与が明白となっている。
不動産鑑定を議会に公表しなければ、何を持って判断すればよいのか。
住民の理解が得られていない。説明会も地権者と一部代表者を中心に開催されたに過ぎない。
事業費の縮小により利便性や多額な投資の理解が得られない。
今後の村財政を考え、補助金の削減、人件費等の見直しが進む中で当事業も見直しが必要と考え反対します。

武田 猛見 議員

債務負担行為の土地取得の根拠が明確になっていない。
新駅設置場所は、住民合意が得ているとしているが地元の声は必ずしもそういう方向ではない。
住民説明会、全世帯アンケートを行い合

意形成せよ。

不透明な部分が見えてきており、このまま推し進めるわけにはいかない。
滝沢南中学校の建設を理由に事業縮小を説明しているが、以前から説明がある事業で単なる詭弁だ。
以上の理由により反対します。

川原 清 議員

事業が縮小になると、不可解な土地の動きは解明する必要がある。このまま進むことは疑惑隠しにつながり、もっと大きな疑惑を生むことになる。
土地の動きの不可解な部分の解明が必要である。
農業委員会の許可決定の判断に行政の介入があったのではないか。
情報公開の時代に逆行している。行政の信頼を得るために透明度を高めるべき。
他の輸送手段と併せ時間を掛け慎重に検討する必要がある。
賛否をめぐって村が二分されつつあり、大きな禍根を残さぬようすべき。
以上により反対します。

賛成討論

阿部 長俊 議員

新駅は請願駅であり、議会も賛同し要望活動を行ってきた経緯があり、責任は大きい。また、村はIGRの出資団体であり経営を担う役目もあり、事業が確保されなければならない。
当初計画の内容変更など経営会議に猛



省を促し、縮小案は財政運営の改善となり、他の主要事業の見直しも現実となったと評価するが、先延びとなったまちづくり事業は地域の要望に応えることを期待する。
以上により賛成します。

黒沢 明夫 議員

現予定地の確定の経緯は、一部に異論のあるものの大多数の地域住民の願いであり、地域発展につながることを村と共有し、進めてきたものである。

場所の検討は住民参画をいただき、検討委員会の意見書として提出されたものであります。

委員の選定は地域の積極的な公募者もあり、真剣に討議し、積み上げた結果であり、無にすることはあってはならないと思う。

個人情報保護も基本的人権であり尊重されなければならない。

不動産鑑定に基づいた適正価格で今後交渉することは当然であり、全村民も注視しており、一部で言われている内容があつてはならない。また、新駅設置後は速やかにまちづくり事業に取り組みことに期待し賛成します。